

外用殺菌消毒剤

# エコ消エタ®消毒液

エコ消エタ®消毒液の「エコ」とは？

エコロジーとエコノミーの「エコ」です。



## 特徴

- 日局消毒用エタノールと同濃度のエタノールに日局ユーカリ油<sup>※</sup>を微量添加した外用殺菌消毒薬です  
 ※ユーカリ油は芳香性のある精油で、エタノールと同様に揮発性です。日本薬局方に収載され、含嗽剤や去痰薬などに広く使われています。
- 効能・効果、用法・用量は日局消毒用エタノールと同じで、抗菌スペクトルも日局消毒用エタノールと同等です
- エタノールおよびユーカリ油は、植物由来成分です
- 原料に酒税加算額が課されないため、日局消毒用エタノールよりも経済的です
- ウサギの背部皮膚で評価する皮膚刺激性テストにおいて「無刺激物」と判定されました<sup>1)</sup>
- 容器は減容して廃棄できます(500mL、5L)



使用後

**禁忌** (次の患者には投与しないこと)

損傷皮膚及び粘膜には使用しないこと [刺激作用を有する]



ヨシダ製薬

## 有効性

### 各種細菌・真菌に対する殺菌効果<sup>1)</sup>

エコ消エタ<sup>®</sup>消毒液について、各種細菌および真菌に対する殺菌力試験を行った。その結果グラム陽性・陰性菌、真菌(酵母、*P. citrinum*)において日局消毒用エタノールと同様に30秒以内に殺菌された。

### 各種ウイルスに対する不活性化効果<sup>1)</sup>

エコ消エタ<sup>®</sup>消毒液の各種ウイルスに対する効果を検討した結果、エンベロープを有するウイルスは30秒以内に検出限界未満となり、不活性化効果が確認された。

## 安全性

### 単回経口投与毒性試験におけるLD<sub>50</sub>(マウス)<sup>1)</sup>

5週齢の雄マウス(ICR)にエコ消エタ<sup>®</sup>消毒液、消毒用エタノール「ヨシダ」、イソプロパノール消毒液70%「ヨシダ」、ネオ消アル「ヨシダ」を1回経口投与し、14日間観察したときの死亡率を基にLD<sub>50</sub>値を計算した。

	エコ消エタ <sup>®</sup> 消毒液	消毒用エタノール「ヨシダ」	イソプロパノール消毒液70%「ヨシダ」	ネオ消アル「ヨシダ」
単回経口投与毒性 マウス 雄 LD <sub>50</sub> (g/kg)	12.25 計算不可	10.41 (8.28~13.09)*	8.86 (7.34~10.68)*	9.60 (7.73~11.92)*

\*95%信頼限界

LD<sub>50</sub>値(Lethal Dose 50(半数致死量)): 1回の投与で1群の実験動物の50%を死亡させると予想される投与量

## 残存性

### ユーカリ油の残存性<sup>1)</sup>

ユーカリ油は揮発するため残存性に問題がなく、においも消失することが確認された。また、ガラス板を清拭しても、曇りは認められなかった。

1) 佐藤隆一、和田英己、滝沢真紀、横田勝弘:各種アルコール系消毒薬の評価 医薬と薬学2003;49:713-724 より作成

2023年8月改訂(第1版)

貯法:室温保存  
有効期間:3年

外用殺菌消毒剤  
消毒用エタノール(ユーカリ油入り)  
**エコ消エタ<sup>®</sup>消毒液**  
Ecosyoueta Disinfectant Solution

日本標準商品分類番号  
872615

承認番号	22100AMX01472000
薬価基準収載	2009年9月(販売名変更による)
販売開始	2003年5月

<b>2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)</b> 損傷皮膚及び粘膜には使用しないこと[刺激作用を有する]	
<b>3. 組成・性状</b>	
3.1 組成	
有効成分	100mL 中 日局エタノール83mL (エタノール(C <sub>2</sub> H <sub>6</sub> O)76.9 ~ 81.4vol%を含む。)
添加剤	ユーカリ油
3.2 製剤の性状	
性状	無色透明な液で、芳香性においがある。
<b>4. 効能又は効果</b> 手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療機器の消毒	
<b>6. 用法及び用量</b> 本剤をそのまま消毒部位に塗布する。	
<b>11. 副作用</b> 次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。	
11.2 その他の副作用	
	頻度不明
過敏症	発疹等
皮膚	刺激症状

<b>14. 適用上の注意</b>	
<b>14.1 薬剤使用時の注意</b>	
14.1.1	外用にのみ使用すること。
14.1.2	経皮的エタノール注入療法(PEIT)には使用しないこと。
14.1.3	眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
14.1.4	エタノール蒸気に大量に又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがあるので、広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。
14.1.5	同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
14.1.6	本剤は血清、膿汁等のタンパク質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療機器等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。
14.1.7	合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
14.1.8	引火性があり、爆発の危険性もあるため、火気(電気メス使用等も含む)には十分注意すること。
14.1.9	電気メス等を使用する場合には本剤を乾燥させ、アルコール蒸気の拡散を確認してから使用すること。電気メスによる発火事故が報告されている。
<b>20. 取扱い上の注意</b> 火気を避けて保存すること。	
<b>22. 包装</b> 500mL(減容ポリ)、5L(減容ポリ)、10L(ポリ容器)、16L(缶)	

■詳細は電子添文をご参照ください。  
■電子添文の改訂に十分ご注意ください。



**ヨシダ製薬**

製造販売元  
**吉田製薬株式会社**  
埼玉県狭山市南入曾951

吉田製薬 製品情報

文献請求先及び問い合わせ先

吉田製薬株式会社  
東京都中野区中央5-1-10  
Tel:03-3381-2004

©2310KK  
400009  
2023年10月作成